



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 遠州トラック株式会社  
 コード番号 9057 URL <https://www.enshu-truck.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 邦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松尾 孝之  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0538-42-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,402	22.7	1,126	68.1	1,134	71.1	770	35.5
2019年3月期第2四半期	13,369	7.9	669	9.3	662	5.7	568	2.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 746百万円 (22.5%) 2019年3月期第2四半期 609百万円 (9.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	103.30	
2019年3月期第2四半期	76.24	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	26,498	14,329	54.1
2019年3月期	25,072	13,687	54.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 14,329百万円 2019年3月期 13,687百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		14.00		14.00	28.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2019年11月7日)公表いたしました「2020年3月期(第55期)配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,100	13.0	2,050	28.3	2,030	29.4	1,320	33.3	176.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2019年11月7日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	7,546,000 株	2019年3月期	7,546,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	85,230 株	2019年3月期	85,106 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	7,460,814 株	2019年3月期2Q	7,460,914 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が続いたことや各種経済政策により、緩やかな回復基調が続きました。一方、米国、欧州、中国の経済は減速が鮮明となり、国内では消費税率の引き上げによる個人消費への影響などから、景気の先行きは不透明感が強まっております。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、昨年7月に開始したインターネット通販向けの宅配業務が期初から寄与したこと、従来からのインターネット通販向けの物流拠点間輸送が増加したこと、家電品や日用品・衛生用品等生活関連貨物の取り扱いも堅調に推移したことなどから、当第2四半期連結累計期間の営業収益(売上高)は164億2百万円(前年同期比22.7%増)となりました。

利益面におきましては、主に輸送事業の拡大が寄与した結果、営業利益は11億26百万円(前年同期比68.1%増)、経常利益は11億34百万円(前年同期比71.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億70百万円(前年同期比35.5%増)となりました。

セグメント別の営業収益の状況は次のとおりであります。

物流事業の営業収益は162億76百万円(前年同期比22.5%増)となりました。その内訳は、輸送部門が119億13百万円(前年同期比29.5%増)、倉庫部門が43億62百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

その他(不動産事業等)は1億26百万円(前年同期比60.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は77億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億24百万円増加しました。これは主に現金及び預金が2億45百万円、受取手形及び営業未収入金が2億10百万円増加したことによるものであります。固定資産は187億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億1百万円増加しました。これは主に有形固定資産が9億60百万円、投資その他の資産が42百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、264億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億25百万円増加しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は64億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億54百万円増加しました。これは主に未払法人税等が1億25百万円、その他に含めて表示している未払消費税等が1億32百万円減少したものの、その他に含めて表示している未払金が6億91百万円、設備支払手形が88百万円増加したことによるものであります。固定負債は57億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億29百万円増加しました。これは主に長期借入金が2億58百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、121億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億83百万円増加しました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は143億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億41百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益7億70百万円及び剰余金の配当1億4百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は54.1%(前連結会計年度末は54.6%)となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は30億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億45百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は7億28百万円（前年同期比88百万円減）となりました。これは主に売上債権の増加額1億72百万円、未払消費税等の減少額1億32百万円、法人税等の支払額4億73百万円による支出に対し、税金等調整前四半期純利益11億20百万円、減価償却費2億60百万円による収入があったことなどによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は6億18百万円（前年同期比3億24百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出5億3百万円、無形固定資産の取得による支出41百万円があったことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1億35百万円（前年同期は5億10百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出4億18百万円、配当金の支払額1億4百万円に対し、短期借入金の純増加額1億54百万円、長期借入による収入5億47百万円があったことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期個別業績予想の修正に伴い、通期連結業績予想を修正いたします。通期個別業績予想の修正は以下の理由によるものです。

当第2四半期累計期間における営業収益は、昨年7月に開始したインターネット通販向けの宅配業務が期初から寄与したこと、従来からのインターネット通販向けの物流拠点間輸送が増加したこと、家電品や日用品・衛生用品等生活関連貨物の取り扱いも堅調に推移したことなどから、期初の予想を上回りました。

一方、第3四半期以降は消費税率の上昇による影響が懸念されるとともに人件費等の増加が見込まれるため、業績の先行きは不透明となっております。

このような情勢を総合的に勘案し、通期個別業績予想を修正することといたしました。

詳細については、本日（2019年11月7日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,826	3,071
受取手形及び営業未収入金	4,016	4,227
電子記録債権	159	120
販売用不動産	32	32
その他	257	263
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	7,276	7,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,293	4,716
機械装置及び運搬具（純額）	187	162
土地	11,086	11,086
リース資産（純額）	237	223
建設仮勘定	467	6
その他（純額）	121	158
有形固定資産合計	15,393	16,354
無形固定資産	234	233
投資その他の資産		
投資有価証券	668	637
繰延税金資産	184	194
その他	1,353	1,415
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	2,167	2,209
固定資産合計	17,795	18,797
資産合計	25,072	26,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,631	2,616
短期借入金	1,760	1,784
未払法人税等	511	386
賞与引当金	176	171
その他	794	1,470
流動負債合計	5,874	6,429
固定負債		
長期借入金	4,661	4,920
退職給付に係る負債	494	514
その他	353	304
固定負債合計	5,509	5,739
負債合計	11,384	12,168
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,284	1,284
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	11,144	11,810
自己株式	△59	△59
株主資本合計	13,455	14,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	210
退職給付に係る調整累計額	△1	△2
その他の包括利益累計額合計	232	207
純資産合計	13,687	14,329
負債純資産合計	25,072	26,498

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益	13,369	16,402
営業原価	12,313	14,864
営業総利益	1,056	1,537
販売費及び一般管理費	386	411
営業利益	669	1,126
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	8
受取保険金	—	4
保険配当金	8	11
その他	6	8
営業外収益合計	22	32
営業外費用		
支払利息	26	20
その他	3	4
営業外費用合計	30	24
経常利益	662	1,134
特別利益		
固定資産売却益	3	1
違約金収入	165	—
特別利益合計	168	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	3	0
災害による損失	—	13
特別損失合計	3	14
税金等調整前四半期純利益	827	1,120
法人税等	258	349
四半期純利益	568	770
親会社株主に帰属する四半期純利益	568	770



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	568	770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	△23
退職給付に係る調整額	△1	△0
その他の包括利益合計	40	△24
四半期包括利益	609	746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	609	746

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	827	1,120
減価償却費	317	260
支払利息	26	20
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3	△0
災害による損失	—	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△121	△172
仕入債務の増減額 (△は減少)	△92	△15
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△39	△132
その他	△2	121
小計	911	1,214
利息及び配当金の受取額	8	8
利息の支払額	△26	△20
法人税等の支払額	△76	△473
営業活動によるキャッシュ・フロー	816	728
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△196	△503
有形固定資産の売却による収入	4	1
無形固定資産の取得による支出	△18	△41
その他	△82	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△294	△618
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△60	154
長期借入れによる収入	—	547
長期借入金の返済による支出	△337	△418
配当金の支払額	△74	△104
その他	△37	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△510	135
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12	245
現金及び現金同等物の期首残高	2,020	2,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,033	3,071

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。